

新規事業箇所調書

				調書作成年月日	平成20年 2月12日																				
				事業担当課	道路課																				
事業名	(仮称)大衡インターチェンジ [*] 建設事業		補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県																			
施行地名	黒川郡大衡村 ^{おおひらむら} 奥田 ^{おくだ} 地内				管理主体	宮城県																			
根拠法令	道路法第12号, 第74条第2項, 道路施行規則第8条																								
事業の概要	事業目的	<p>経済波及効果, 技術波及効果の高い業種や雇用拡大の貢献が大きい業種の企業立地及び物流拠点整備のうち, 「宮城将来ビジョン推進本部」(又は「富県宮城推進会議」)が必要と認められた工業団地企業立地, 物流拠点等に関する公共施設を集中かつ効果的に整備を行い, 企業誘致を誘導し, 県内総生産額の拡大, 雇用の創出の早期実現を図る。</p>																							
	事業内容	(仮称)大衡インターチェンジ 1箇所																							
	事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>[50 %]</td> <td>[50 %]</td> <td>[%]</td> <td>() [%]</td> </tr> <tr> <td>25.0 億円</td> <td>億円</td> <td>12.5 億円</td> <td>12.5 億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> </tr> </tbody> </table>					全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他		[50 %]	[50 %]	[%]	() [%]	25.0 億円	億円	12.5 億円	12.5 億円	億円
全体事業費	費用負担内訳																								
	国	県	市町村	その他																					
	[50 %]	[50 %]	[%]	() [%]																					
25.0 億円	億円	12.5 億円	12.5 億円	億円	億円																				
概要	事業期間	<table border="1"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成 20年度 ~ 平成 22度 (3 年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成 20年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成 20年度</td> </tr> </table>					事業期間	平成 20年度 ~ 平成 22度 (3 年間)			用地買収着手予定年度	平成 20年度	工事着手予定年度	平成 20年度											
	事業期間	平成 20年度 ~ 平成 22度 (3 年間)																							
	用地買収着手予定年度	平成 20年度	工事着手予定年度	平成 20年度																					
施設管理の予定	<p>完成後の施設管理主体は宮城県となるが, 高速自動車道へ接続することとなることから, 東日本高速道路株式会社と連携をとりながら施設管理を図る予定である。</p>																								

事業の必要性	上位計画等
	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城の将来ビジョン（平成19年3月） 「宮城の飛躍を支える産業基盤の整備」の実現に向けた取組「企業立地関連総合基盤整備」として整備促進。 ・土木行政推進計画（宮城県土木部） 県土の発展に大きく寄与し、緊急に整備が必要な事業として戦略的事業へ位置づけられている大衡インターチェンジ 事業を進めていくこととしている。
事業の有効性	事業を巡る社会経済情勢等
	<p>社会経済情勢 企業誘致に向けた第二仙台北部中核工業団地の都市計画の変更を平成20年に予定しており、また平成19年には大規模な企業の立地が表明された。 仙台塩釜港や仙台空港などの物流拠点や県内の産業集積地との連携強化のために、東北縦貫自動車道へ新たなインターチェンジの必要性が増している。</p> <p>地元情勢，地元の意見 宮城県町村会及び宮城県町村議長会から、仙台北部中核工業団地と第二仙台北部工業団地との東北縦貫自動車道へ新たなインターチェンジ 設置の要望が強くなっている。また、大規模な企業立地が表明されたことなどから、物流拠点や県内の産業集積地との連携強化のために、東北縦貫自動車道へ新たなインターチェンジの設置要望が強くなっている。</p>
事業の有効性	事業効果
	<p>想定される事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 関連事業との一体整備により、仙台北部中核工業団地，第二仙台北部工業団地と東北縦貫自動車道が直結し，高速交通ネットワークによる広域交通の円滑化が図られるとともに，両工業団地と仙台塩釜港，仙台空港等の物流拠点や県内外の産業集積地との連携強化が図られる。 (2) 企業誘致を誘導し，県内総生産額の拡大，雇用の創出の早期実現を図る。 (3) 仙台都市圏の高速交通ネットワークがさらに改善され，工業団地のみならず周辺地域からの農産物等の物流効率化が図られ，また周辺の観光施設等へのアクセスが向上し，周辺地域の活性化にも大きく寄与する。 (4) 新たなインターチェンジを設置することによって，混雑が激しい周辺道路の交通分散が図られ周辺渋滞緩和が図られる。 (5) 地域の公共機関も隣接しており，災害時の緊急車両等の迅速性が増し，地域防災の強化にも寄与される。

事業の効率性	関連事業の概要・進捗状況等									
	仙台北部道路の利府しらかし台IC～富谷JCT間事業中【国土交通省】 仙台東部道路仙台港IC【国土交通省】 国道4号富谷大和拡幅4車線化事業中（平成22年度供用予定）【国土交通省】 主要地方道大衡落合線2車線暫定整備事業中（平成20年度供用予定）【宮城県】 主要地方道大衡落合線4車線化（平成21年度完成予定）【宮城県】									
	代替案との比較検討									
	本ルートは、他ルートと比較して沿道環境に与える影響や施工時に現道交通への影響などが最も少なく、利便性、土地利用性、経済性にも優れているルートである。									
	コスト縮減計画									
環境への影響と対策	当該事業の土工において、盛土量不足するが、その土量を別途道路改良事業や周辺他工事で発生する残土を有効利用することで購入費及び運搬費用が縮減される予定である。									
	費用対効果									
	現在、算出中。									
総合評価	地域指定状況等									
	特になし									
総合評価	影響と対策									
	極力残地を残さない計画であり、また切土量が少ない計画をすることによって地形の改変を抑え周辺への影響は少ないと見込まれる。									
	事業箇所評価結果									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路建設事業(インターチェンジ整備) (新規事業箇所)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 位 / -</td> <td>1 箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	道路建設事業(インターチェンジ整備) (新規事業箇所)			- 位 / -	1 箇所	
評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
道路建設事業(インターチェンジ整備) (新規事業箇所)										
- 位 / -	1 箇所									
対応方針										
事業実施										



大衡インターチェンジ建設位置

